

「コストを抑えつつ ネットワークのセキュリティ強化を実現」

株式会社大木家では、増加するウイルス感染の拡大と、不正アクセスによる情報漏洩の対策のため、既存のインターネットVPNに、ジュニパーネットワークス社のUTM機器「SSG140」を導入、既存ネットワークのセキュリティ強化を図った。
導入を担当した、同社 経営戦略室 情報化プロジェクトの池田 篤哉氏に、導入の経緯と導入後の感想を伺った。



株式会社大木家
経営戦略室 情報化プロジェクト
池田 篤哉 様

導入事例【インターネットVPN】株式会社大木家 様

■会社概要

- 会社名： 株式会社大木家
- 本社所在地：〒440-0881 愛知県豊橋市広小路一丁目43番地
- 業種： サービス業（アミューズメント）
- URL： <http://www.ogi-ya.co.jp>

—NPOとも連携。先進的なサービスに取り組み、地域社会に貢献していきます—

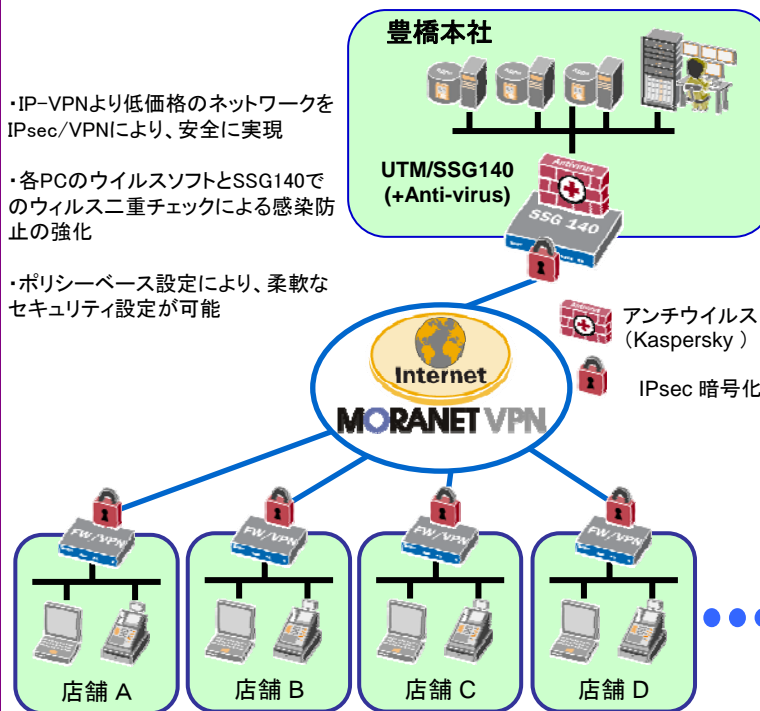
トータルアミューズメント産業として、健全で創造的な『夢』のあるサービスの提供を理念に掲げる株式会社大木家。パチンコ・スロットホールを運営する「アミューズメント事業」を柱に、「レストラン、フードサービス事業」、「健康&レジャー事業」、「不動産開発事業」を通して、地域の人々に「夢」を提供するため、常に新しいサービスに前向きに取り組んでいます。地域のNPOと連携して託児所を開設したのもそのひとつです。『地域NPOの活動の場の確保』とともに、『パチンコホールを訪れるお子さま連れのお客さまへのサービス』という相互の夢を実現。このような先進的な取り組みで、お客さまに心から満足いただけるサービスを提供し、地域社会への貢献に取り組んでいます。

Q. ご利用中のサービスは何ですか？

【サービス】： モーラネットVPN/モーラISP

【機器】：
-本社側 ジュニパーネットワークス社製UTM/SSG140+アンチウイルス
-店舗側 他社製VPN機器

導入イメージ



Q. 導入のきっかけは何ですか？

ランニングコストを抑えた 既存ネットワークのセキュリティ強化が可能だったこと

社内ネットワークの見直しにより、パソコンやサーバごとにセキュリティを守る①エンドポイントセキュリティと、部署間の不要な通信を遮断する②ネットワークのセグメント化が目的で導入しました。

①エンドポイントセキュリティ・・・個々のサーバやパソコンを守るため、ウイルス対策ソフトのインストールとSSG140での二重チェックを行い、ウイルスによる感染防止を強化。

②ネットワークのセグメント化・・・社内ネットワークの通信内容をSSG140でチェック。通信を部署内に閉じ込め、不必要な部署間のやり取りを遮断することにより、ウイルス感染の拡大や、他部署からの不正アクセスによる情報漏洩の防止。

この2点を重視し、各スタッフが安心して利用できるネットワーク構築が比較的ランニングコストを抑えた運営が出来るということで採用を決定致しました。

Q. 導入後の現場のご意見・ご感想をお聞かせください。

エンドユーザー側に意識させることなく、 より高い安全性を確保

もともとモーラネットのインターネットVPNを利用していましたが、SSG140を導入することでエンドユーザー側では特に意識することなく、もう一段階高い安全が確保されパフォーマンスは非常に良好です。

運用メンテナンスに関しても最初に決定した弊社ポリシーに沿ってそれぞれの機能改善、ウイルス対策も自動で行うため、定期的なログの確認程度と仮に問題が発生した場合もモーラネットサポートの迅速な対応で管理者の負担減に役立ちました。



※SSG140は米国ジュニパーネットワークス社のセキュリティ製品で、ファイアウォールやVPN性能が向上し、複数のセキュリティ機能を統合、強化した次世代のUTM機器です。
※当社はJ-PartnerのElite資格を取得しています。



モーラネットVPN レンタルパック

インターネットVPNを構築するなら、
モーラネットVPNレンタルパック。
セキュアネットワークの構築から設置・運用まで、
いたれりつくせりで、ご担当者様も安心です。

小規模・中規模向け次世代UTM機器「SSG」シリーズ

- VPN機器+設定設置・オンサイト保守を全てパッケージング
- 回線・ISPも全てモーラネットにて一括手配可能
- オプションのハイパーサポートで、運用管理の煩雑さも解消